



新キャンパスで加速する「新しい学力」対応に注目！ 追手門学院中学入試 志願者数連続増加

追手門学院中学校（大阪府茨木市：校長 木内淳詞）が昨年度に実施した、平成30(2018)年度入試(2018年度入学者対象の入試)結果がまとまり、前期日程と後期日程を合わせた総志願者数は161名で前の年を12名上回り、3年連続で志願者が増加しました。

教材会社のエデュケーショナルネットワークが4月20日に開催した中学入試報告会での説明資料によりますと、大阪府の私立中学校63校のうち、前期、後期日程ともに2年以上続けて志願者数が増加したのは、追手門学院中学校を含め4校だということです。

少子化に伴う受験人口が減少する中、本校では志願者が増えたことについて①2020年度からスタートする新大学入試を見据え、求められる「新しい学力」に対応した教育の実践②併設する追手門学院高校の進学実績の向上③来年4月にJR総持寺駅徒歩約10分のところに新キャンパスを開設し全面移転することによるアクセスの改善④昨年度初めて全国大会に出場した高校アメリカンフットボール部やなでしこリーグ2部チームに入団選手を輩出した高校女子サッカー部の活躍などを要因として考えています。

【ポイント】

- 追手門学院中学校の2018年度入試の総志願者は161名。3年連続増加。
- 前期日程、後期日程ともに2年以上続けての志願者数増加は、大阪府内では本校も含め4校。
- 志願者増加の要因は、2020年度大学入試対応の実践、新キャンパス等。

2018年度入試までの連続年数	前期日程	後期日程
2年連続	追手門学院、大阪青凌、関西大学北陽、関西大学中等部、四條畷学園、四天王寺学園、常翔学園	明星、大谷、関西大学北陽、常翔学園、高槻
3年連続	同志社香里	追手門学院、近大附属、浪速
4年連続	高槻	

※前期、後期ともに志願者数が2年以上続けて増加しているのは、追手門学院を含む4校

(2018年4月20日エデュケーショナルネットワーク発表)

この資料の配付先：大阪教育記者クラブ、北摂記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立